



## プレゼンス サービスの設定

この章では、Cisco Unified Communications Manager Express (Cisco Unified CME) システムにおけるプレゼンスのサポートについて説明します。

### このモジュールで紹介する機能情報の入手方法

お使いの Cisco Unified CME のバージョンが、このモジュールで説明されている機能の一部をサポートしていないことがあります。各機能がサポートされているバージョンのリストについては、「[プレゼンス サービスの機能情報](#)」(P.1319) を参照してください。

## 内容

- 「[プレゼンス サービスの前提条件](#)」(P.1293)
- 「[プレゼンス サービスの制約事項](#)」(P.1293)
- 「[プレゼンス サービスについて](#)」(P.1294)
- 「[プレゼンス サービスの設定方法](#)」(P.1298)
- 「[プレゼンスの設定例](#)」(P.1314)
- 「[その他の参考資料](#)」(P.1317)
- 「[プレゼンス サービスの機能情報](#)」(P.1319)

## プレゼンス サービスの前提条件

- Cisco Unified CME 4.1 以降のバージョン。

## プレゼンス サービスの制約事項

- ビジー ランプ フィールド (BLF) 通知などのプレゼンス機能は SIP トランクにのみサポートされています。これらの機能は H.323 トランクではサポートされていません。
- プレゼンスでは、SIP 電話機にディレクトリ番号が (**dn** キーワードを **number** コマンドに使用して) 設定されている必要があります。直接回線番号はサポートされません。

## プレゼンス サービスについて

Cisco Unified CME システムのプレゼンス サービスを設定するには、次の概念を理解しておく必要があります。

- 「プレゼンス サービス」 (P.1294)
- 「DnD、コール パーク、ページング、および会議での ephone-DN の BLF モニタリング」 (P.1296)
- 「デバイスベース BLF モニタリング」 (P.1297)
- 「BLF スピード ダイヤルのための電話機ユーザ インターフェイス」 (P.1298)

## プレゼンス サービス

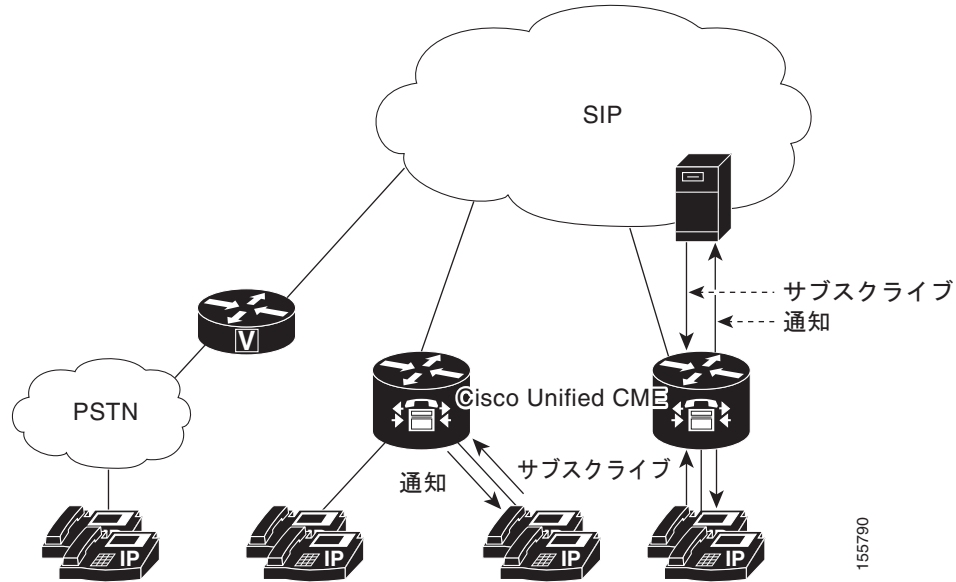
プレゼンス サービスは、RFC 2778 および RFC 2779 に定義されているように、プレゼンス エンティティ (プレゼンティティ) と呼ばれるソースからプレゼンス情報を検索して取得し、ウォッチャと呼ばれる関係者に配信するためのシステムです。SIP WAN 接続で Cisco Unified CME システムにプレゼンスを設定した場合、電話機ユーザ (ウォッチャ) は、別のユーザのリアルタイム ステータスをディレクトリ番号 (プレゼンティティ) でモニタできます。プレゼンスによって、発信側はダイヤルする前に着信側が使用可能な状態にあるかどうかを知ることができます。たとえば、ディレクトリ アプリケーションにユーザがビジーであることを表示でき、発信者は相手と通話できなかった場合の時間の無駄を省き、不便さを解消できます。

プレゼンスでは、SIP SUBSCRIBE メソッドおよび NOTIFY メソッドを使用して、ユーザおよびアプリケーションが Cisco Unified CME システムにある電話機の回線ステータスの変化を登録できます。電話機はウォッチャとして動作し、プレゼンティティは電話機のディレクトリ番号によって識別されます。ウォッチャは、プレゼンス要求 (SUBSCRIBE メッセージ) を開始してプレゼンティティの回線ステータスを取得します。Cisco Unified CME はプレゼンティティのステータスで応答します。プレゼンティティのステータスが変化するたびに、このプレゼンティティのすべてのウォッチャに通知メッセージが送信されます。SIP 電話機およびトランクは SIP メッセージを使用します。SCCP 電話機は SCCP メッセージでプレゼンス プリミティブを使用します。

プレゼンスは短縮ダイヤル ボタンのビジー ランプ フィールド (BLF) 通知機能と不在履歴、発信履歴、着信履歴のディレクトリ コール リストをサポートします。BLF スピード ダイヤル機能と BLF コール リスト機能をサポートする SIP 電話機と SCCP 電話機は、内部および外部ディレクトリ番号のステータス変化通知を登録できます。

図 67 に、内部および外部ディレクトリ番号に BLF 通知をサポートしている Cisco Unified CME システムを示します。ウォッチャとプレゼンティティのどちらも Cisco Unified CME ルータの内部にない場合、サブスクライブ メッセージはプレゼンス プロキシ サーバによって処理されます。

図 67 プレゼンスを使用した BLF 通知



電話機の BLF インジケータによって次の回線状態が表示されます。

- **Line is idle** : この回線が使用されていないときに表示されます。
- **Line is in-use** : この回線が新規コールを受け付けるかどうかにかかわらず、回線が呼び出し状態のときと、ユーザが回線上にいるときに表示されます。
- **BLF indicator unknown** : 電話機が未登録であるか、この回線のウォッチが許可されていません。

Cisco Unified CME は、内部回線 (SIP と SCCP の両方) にはプレゼンス エージェントとして動作し、SIP トランク経由で接続された外部ウォッチャにはプレゼンス サーバとして動作して、次の機能を提供します。

- 内部回線から内部回線への **SUBSCRIBE** 要求を処理します。内部サブスクライバにすべてのステータス変化を通知します。
- 内部 **SCCP** および **SIP** 回線用の **SIP** トランクからの着信 **SUBSCRIBE** 要求を処理します。外部サブスクライバにすべてのステータス変化を通知します。
- 内部回線の代わりに外部プレゼンティティに **SUBSCRIBE** 要求を送信します。ステータス応答を内部回線に中継します。

SIP トランクからのプレゼンス サブスクリプション要求は認証および承認できます。ローカル サブスクリプション要求は認証できません。

設定については、「[プレゼンス サービスの設定方法](#)」(P.1298) を参照してください。

## DnD、コール パーク、ページング、および会議での ephone-DN の BLF モニタリング

Cisco Unified CME 7.1 よりも前のバージョンの BLF モニタリングでは、モニタするディレクトリ番号が DnD 対応になっているときにステータス変化の通知は提供されません。また、コール パーク スロット、ページング番号、あるいはアドホック会議またはミーティングの番号として設定されているディレクトリ番号のビジー ランプ フィールド (BLF) インジケータには、不明の回線ステータスのみが表示されます。

Cisco Unified CME 7.1 以降のバージョンでは、コール パーク スロット、ページング番号、およびアドホック会議またはミーティングの番号として設定されている **ephone-dn** (モニタ対象) に対して、アイドル、使用中、および不明状態の BLF ステータス インジケータがサポートされます。このため管理者 (ウォッチャ) は、コール パーク スロットをモニタしてコールがパーク中でまだ取得されていないかどうか、いずれのページング番号がページングに使用可能であるか、あるいはいずれの会議番号が会議に使用可能であるかを確認できます。

パーク スロットとして設定されている **ephone-dn** は電話機に登録されません。Cisco Unified CME 7.1 以降のバージョンでは、モニタするパーク スロットがアイドルであれば、BLF ステータスはウォッチャにアイドルを示します。モニタするパーク スロットにパーク中のコールがあれば、BLF ステータスは使用中を示します。モニタするパーク スロットが **allow watch** コマンドで BLF モニタリング用にイネーブルにされていない場合は、不明ステータスの BLF インジケータがウォッチャに表示されます。

ページングまたは会議用に設定されている **ephone-dn** も電話機に登録されません。アイドル、使用中、および不明の BLF ステータスのインジケータは、コール パーク スロットの場合と同様に、モニタするページング番号およびアドホック会議またはミーティングの番号に対して表示されます。

Cisco Unified CME 7.1 以降のバージョンでは、サイレント (DnD) の BLF ステータス インジケータが DnD 状態の **ephone-dn** に対してサポートされます。ユーザが [サイレント (DnD)] ソフトキーを SCCP 電話機で押すと、その電話機に割り当てられているすべてのディレクトリ番号が DnD 対応になり、電話機のすべてのディレクトリ番号に対するすべてのコールでサイレント呼び出しが再生されます。モニタする **ephone-dn** が DnD 対応になると、ウォッチャの対応する BLF スピードダイヤル ランプ (適用可能な場合) は、アイドルおよび使用中の両方の BLF ステータスに対し [サイレント (DnD)] アイコン付きで赤一色の表示になります。

BLF ステータス通知は、モニタする **ephone-dn** が次のような場合に行われます。

- 1 台のみの SCCP 電話機のプライマリ ディレクトリ番号
- 共有されていないディレクトリ番号
- 共有ディレクトリ番号、およびすべての関連付けられた電話機が DnD に対応

これらの拡張機能をサポートするために、新しい設定は必要ありません。ディレクトリ番号の BLF モニタリングの設定の詳細については、「[SCCP : スピードダイヤルおよびコール リストの BLF モニタリングのイネーブル化](#)」(P.1302) を参照してください。

表 120 に、Cisco Unified CME で設定可能なさまざまな BLF モニタリング機能の比較を示します。

表 120 ディレクトリ番号 BLF モニタリングの機能の比較

モニタ モード (ボタン「m」)	ウォッチ モード (ボタン「w」)	BLF モニタリング
<b>基本操作</b>		
<p>SCCP 電話機のみ。</p> <p>単一の ephone-dn インスタンスをウォッチします。</p> <p>同じ内線を持つ複数の ephone-dn がある (オーバーレイなど) 場合、このモードでは単一の ephone-dn のみ (button コマンドに <b>m</b> キーワードを使用して指定) をウォッチします。</p> <p>電話機の DND 状態は示されません。</p>	<p>SCCP 電話機のみ。</p> <p>指定された ephone-dn がプライマリ内線である電話機のすべてのアクティビティをウォッチします。</p> <p>(内線がボタン 1 または <b>auto-line</b> コマンドによって示されるボタンに表示される場合、その ephone-dn は電話機の「プライマリ」です)。</p> <p>ephone-dn は共有できますが、他の電話機のプライマリ内線にすることはできません。</p> <p>電話機の DND 状態を示します。</p>	<p>SCCP 電話機および SIP 電話機。</p> <p>同じ (プライマリ) 内線番号を持つすべての ephone-dn インスタンスをウォッチします。BLF ランプは、モニタする内線のいずれかのインスタンスが使用中の場合に点灯します。</p> <p>電話機の DND 状態を示します。</p>
<b>共有回線</b>		
<p>DN が複数の電話機にわたって共有されている場合は、どの電話機が使用中であるかを区別できません。</p>	<p>ephone-dn が複数の電話機にわたって共有されているケースのために設計されています。</p> <p>各電話機には一意のプライマリ ephone-dn が必要です。</p> <p>特定の ephone-dn が使用中であることを示す (ボタン m) のではなく、特定の電話機が使用中であることを示すために使用されます。</p>	<p>DN が複数の電話機にわたって共有されている場合は、どの電話機が使用中であるかを区別できません。</p>
<b>ローカルとリモート</b>		
<p>ローカル Cisco Unified CME システム上の DN のみをモニタします。</p>	<p>ローカル Cisco Unified CME システム上にある DN のモニタのみ可能です。</p>	<p>SIP Subscribe and Notify を使用してリモート</p> <p>Cisco Unified CME 上の内線番号をモニタ可能です。ローカルとリモートを同時にはモニタできません。</p>

## デバイスベース BLF モニタリング

デバイスベース BLF モニタリングでは、モニタする電話機 (プレゼンティティ) のステータスに関する情報が電話機ユーザまたは管理者 (ウォッチャ) に提供されます。Cisco Unified CME 4.1 以降のバージョンでは、短縮ダイヤル ボタン、コール ログ、およびディレクトリ リストに関連付けられたディレクトリ番号の BLF モニタリングがサポートされます。Cisco Unified CME 7.1 以降のバージョンでは、デバイスベース BLF モニタリングがサポートされ、ウォッチャは電話機の回線だけでなく、電話機のステータスをモニタできます。

BLF ステータスをモニタする電話機を識別するために、Cisco Unified CME は、管理するディレクトリ番号が最初のボタンに割り当てられた電話機、または **auto-line** コマンドで選択されたボタンを持つディレクトリ番号の電話機（SCCP のみ）を選択します。複数の電話機が同じ番号をそのプライマリディレクトリ番号として使用する場合には、最も低い電話タグが付いた電話機がその BLF ステータスをモニタされます。

エクステンション モビリティ電話では、ユーザ プロファイルに設定された最初の番号は、エクステンション モビリティ電話のプライマリ ディレクトリ番号を示します。エクステンション モビリティ電話がモニタ対象の場合は、エクステンション モビリティ ユーザがログインまたはログアウトするとき、あるいはアイドルまたはビジーのとき、対応する電話機の BLF ステータスがウォッチャに送信されず。

モニタする SCCP 電話機で共有ディレクトリ番号がビジーのとき、モニタするデバイスがオンフック状態であれば、モニタする電話機はアイドルと見なされます。

モニタする電話機がページを受信したとき、ページング ディレクトリ番号もモニタ対象であれば、ページング ディレクトリ番号の BLF ステータスはウォッチャにビジーと示されます。

コール パーク スロットとして設定されているディレクトリ番号でデバイスベース モニタリングがイネーブルになっている場合に、このパーク スロットにパーク中のコールがあれば、デバイスベース BLF ステータスにビジーと示されます。

電話機に関連付けられたすべてのディレクトリ番号は、[サイレント (DnD)] ソフトキーが押されると DnD 状態になります。モニタする電話機が DnD 対応になると、ウォッチャに DnD ステータス変更が通知されます。

設定については、「[SCCP : スピードダイヤルおよびコール リストの BLF モニタリングのイネーブル化](#)」(P.1302) または「[SIP : スピードダイヤルおよびコール リストの BLF モニタリングのイネーブル化](#)」(P.1305) を参照してください。

## BLF スピードダイヤルのための電話機ユーザ インターフェイス

Cisco Unified CME 8.5 以降のバージョンでは、エクステンション モビリティ (EM) ユーザがサービス機能のボタンを使用して電話機で直接 dn ベースのビジー ランプ フィールド (BLF) スピードダイヤルの設定を行うことができます。BLF スピードダイヤル設定は、[サービス (Services)] ボタンで使用できるメニューを使用して、電話機で追加または修正 (変更または削除) されます。電話機ユーザ インターフェイスから行われた BLF スピードダイヤル設定への変更は、エクステンション モビリティのユーザのプロファイルに適用されます。ephone モードまたは ephone-template モードで

**blf-speed-dial** コマンドを使用して、SCCP 電話機の BLF スピードダイヤル メニューを設定できます。詳細については、「[BLF スピードダイヤル メニューのイネーブル化](#)」(P.1307) を参照してください。

電話機ユーザが電話機のユーザ インターフェイスを使用して BLF スピードダイヤルを設定する方法の詳細については、Cisco Unified CME 用の『[Cisco Unified IP Phone documentation](#)』を参照してください。

EM 機能が搭載されていない電話機の場合は、BLF スピードダイヤル サービスをサービスの URL ページで利用できません。エクステンション モビリティが搭載されていない電話機で **no phone-ui blf-speed-dial** コマンドを使用して、BLF スピードダイヤル機能をディセーブルにできます。

## プレゼンス サービスの設定方法

ここでは、次の作業について説明します。

- 「内部回線に対するプレゼンスの有効化」 (P.1299)
- 「ディレクトリ番号のウォッチ」 (P.1300)
- 「SCCP : スピードダイヤルおよびコールリストの BLF モニタリングのイネーブル化」 (P.1302)
- 「SIP : スピードダイヤルおよびコールリストの BLF モニタリングのイネーブル化」 (P.1305)
- 「BLF スピードダイヤルメニューのイネーブル化」 (P.1307)
- 「外部回線をウォッチするプレゼンスの設定」 (P.1308)
- 「プレゼンス設定の確認」 (P.1310)
- 「プレゼンスのトラブルシューティング」 (P.1312)

## 内部回線に対するプレゼンスの有効化

内部ウォッチャおよび SIP トランクからの着信プレゼンス要求をルータが受け付けられるようにするには、次の手順を実行します。

### 制約事項

- プレゼンティティはディレクトリ番号によってのみ識別できます。
- BLF モニタリングは回線ステータスのみを示します。
- インスタント メッセージングはサポートされません。

### 手順の概要

1. `enable`
2. `configure terminal`
3. `sip-ua`
4. `presence enable`
5. `exit`
6. `presence`
7. `max-subscription number`
8. `presence call-list`
9. `end`

### 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	<code>enable</code>  例： Router> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。  • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ2	<code>configure terminal</code>  例： Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。



■ プレゼンス サービスの設定方法

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ3	<code>sip-ua</code>  例： Router(config)# sip-ua	SIP ユーザ エージェント コンフィギュレーション モードを開始して、ユーザ エージェントを設定します。
ステップ4	<code>presence enable</code>  例： Router(config-sip-ua)# presence enable	着信プレゼンス要求をルータが受け付けられるようにします。
ステップ5	<code>exit</code>  例： Router(config-sip-ua)# exit	SIP ユーザ エージェント コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ6	<code>presence</code>  例： Router(config)# presence	プレゼンス サービスをイネーブルにし、プレゼンス コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ7	<code>presence call-list</code>  例： Router(config-presence)# presence call-list	ローカルに登録されたすべての電話機の、ディレクトリおよびコール リストのディレクトリ番号の BLF モニタリングをグローバルにイネーブルにします。  <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>allow watch</b> コマンドでは、ウォッチ用にイネーブルにしたディレクトリ番号のみに BLF ステータス インジケータが表示されます。</li> <li>• このコマンドは BLF コール リストをグローバルにイネーブルにします。特定の電話機の機能をイネーブルにするには、「<a href="#">SCCP: スピードダイヤルおよびコールリストの BLF モニタリングのイネーブル化</a>」(P.1302)を参照してください。</li> </ul>
ステップ8	<code>max-subscription number</code>  例： Router(config-presence)# max-subscription 128	(任意) 許可される同時ウォッチ セッションの最大数を設定します。  <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>number</b> : 最大ウォッチ セッション数。範囲は 100 からルータのプラットフォームでサポートされるディレクトリ番号の最大数までです。範囲を表示するには、<b>?</b> と入力します。デフォルト: 100。</li> </ul>
ステップ9	<code>end</code>  例： Router(config-presence)# end	特権 EXEC モードに戻ります。

## ディレクトリ番号のウォッチ

ディレクトリ番号に関連付けられた回線を、Cisco Unified CME ルータに登録された電話機でモニタできるようにするには、次の手順を実行します。回線はプレゼンティティとしてイネーブルにされ、電話機は BLF コール リストおよび BLF スピードダイヤルの機能によりその回線ステータスを登録でき



まず、回線をモニタできる電話機のタイプに関して制約事項はありません。サポートされる音声ゲートウェイ上のアナログ電話機または任意の IP Phone の任意の回線をプレゼンティティにすることができます。

## 制約事項

- プレゼンティティはディレクトリ番号によってのみ識別されます。
- BLF モニタリングは回線ステータスのみを示します。

## 手順の概要

1. `enable`
2. `configure terminal`
3. `ephone-dn dn-tag`  
または  
`voice register dn dn-tag`
4. `number number`
5. `allow watch`
6. `end`

## 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	<code>enable</code>  例： Router> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。  • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ2	<code>configure terminal</code>  例： Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ3	<code>ephone-dn dn-tag [dual-line]</code> または <code>voice register dn dn-tag</code>  例： Router(config)# ephone-dn 1 または Router(config)# voice register dn 1	コンフィギュレーション モードを開始して、IP Phone、インターコム回線、音声ポート、またはメッセージ待機インジケータ (MWI) のディレクトリ番号を定義します。  • <i>dn-tag</i> : 設定タスク中の特定のディレクトリ番号を指定します。範囲は 1 からルータのプラットフォームで許可されるディレクトリ番号の最大数、または <b>max-dn</b> コマンドで定義される最大値までです。範囲を表示するには、 <b>?</b> と入力します。
ステップ4	<code>number number</code>  例： Router(config-ephone-dn)# number 3001 または Router(config-register-dn)# number 3001	Cisco Unified CME の IP Phone に割り当てられるディレクトリ番号に電話番号を関連付けます。  • <i>number</i> : E.164 電話番号を示す最大 16 文字の文字列。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ5	<p><code>allow watch</code></p> <p><b>例：</b>                      Router(config-ephone-dn)# <code>allow watch</code>                      または                      Router(config-register-dn)# <code>allow watch</code></p>	<p>このディレクトリ番号に関連付けられた電話回線をプレゼンス サービスのウォッチャがモニタできるようにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>このコマンドは、<code>ephone-dn</code> テンプレート コンフィギュレーション モードで設定して 1 つ以上の電話機に適用することもできます。<code>ephone-dn</code> コンフィギュレーションは <code>ephone-dn</code> テンプレート コンフィギュレーションよりも優先されます。</li> </ul>
ステップ6	<p><code>end</code></p> <p><b>例：</b>                      Router(config-ephone-dn)# <code>end</code>                      または                      Router(config-register-dn)# <code>end</code></p>	<p>特権 EXEC モードに戻ります。</p>

## SCCP : スピード ダイヤルおよびコール リストの BLF モニタリングのイネーブル化

BLF スピード ダイヤルおよび BLF コール リストのプレゼンス機能により、ウォッチャは内部および外部ディレクトリ番号 (プレゼンティティ) に関連付けられた回線のステータスをモニタできます。SCCP を使用する IP Phone で BLF 通知機能をイネーブルにするには、次の手順を実行します。

### 前提条件

- Cisco Unified CME ルータでプレゼンスがイネーブルになっていること。「[内部回線に対するプレゼンスの有効化](#)」(P.1299) を参照してください。
- BLF ステータス通知を提供するには、ディレクトリ番号が `allow watch` コマンドでプレゼンティティとしてイネーブルになっていること。「[ディレクトリ番号のウォッチ](#)」(P.1300) を参照してください。
- デバイススペース モニタリングには、Cisco Unified CME 7.1 以降のバージョンが必要。モニタする電話機に関連付けられたすべてのディレクトリ番号が `allow watch` コマンドで設定されている必要があります。そうでないと、いずれかのディレクトリ番号がこの設定を省略した場合に、正しいステータスがウォッチャに報告される可能性があります。

### 制約事項

- コール リストのデバイススペース BLF モニタリングはサポートされません。
- デバイススペース BLF スピード ダイヤル モニタリングはリモート ウォッチャまたはプレゼンティティにはサポートされません。

#### BLF コール リスト

- Cisco Unified IP Phone 7905/7906/7911/7912/7931/7940/7960/7985、Cisco Unified IP Phone Expansion Module、Cisco Unified IP Conference Station ではサポートされません。

### BLF スピードダイヤル

- Cisco Unified IP Phone 7905/7906/7911/7912/7985、Cisco Unified IP Conference Station ではサポートされません。

### Cisco Unified IP Phone 7931

- BLF ステータスはモニタ ランプによってのみ表示されます。BLF ステータスのアイコンは表示されません。

#### 手順の概要

1. `enable`
2. `configure terminal`
3. `ephone phone-tag`
4. `button button-number {separator} dn-tag [,dn-tag...] [button-number {x} overlay-button-number] [button-number...]`
5. `blf-speed-dial tag number label string [device]`
6. `presence call-list`
7. `end`

#### 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	<code>enable</code>  例： Router> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。  • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ2	<code>configure terminal</code>  例： Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ3	<code>ephone phone-tag</code>  例： Router(config)# ephone 1	<code>ephone</code> コンフィギュレーション モードを開始して、SIP 電話機に電話固有のパラメータを設定します。  • <i>phone-tag</i> : 設定する電話機の一意的シーケンス番号。範囲はバージョンとプラットフォームに依存します。範囲を表示するには、 <b>?</b> と入力します。 <b>max-ephones</b> コマンドを使用すると、この引数の上限を変更できます。

コマンドまたはアクション	目的
<p><b>ステップ4</b> <code>button button-number{separator}dn-tag</code>  <code>[,dn-tag...]</code>  <code>[button-number{x}overlay-button-number]</code>  <code>[button-number...]</code></p> <p><b>例:</b>  <code>Router(config-ephone)# button 1:10 2:11 3b12</code>  <code>4o13,14,15</code></p>	<p>ボタン番号と回線特性を電話機のディレクトリ番号に関連付けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>button-number</i> : IP Phone の回線ボタンの番号。</li> <li>• <i>separator</i> : ボタンに関連付ける特性のタイプを表す 1 文字。</li> <li>• <i>dn-tag</i> : このボタンに表示する <code>ephone-dn</code> の一意のシーケンス番号。オーバーレイ回線の場合 (セパレータは <b>o</b> または <b>c</b>)、この引数にはカンマで区切って最大 25 個の <code>ephone-dn</code> タグを指定できます。</li> <li>• <b>x</b> : オーバーレイ ロールオーバー ボタンを作成するセパレータ。</li> <li>• <i>overlay-button-number</i> : このボタンにオーバーフローするオーバーレイ ボタンの番号。</li> </ul>
<p><b>ステップ5</b> <code>blf-speed-dial tag number label string [device]</code></p> <p><b>例:</b>  <code>Router(config-ephone)# blf-speed-dial 3 3001</code>  <code>label sales device</code></p>	<p>電話機のスピードダイヤルに関連付けられたディレクトリ番号の BLF モニタリングをイネーブルにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>tag</i> : スピードダイヤル インデックスを識別する番号。範囲 : 1 ~ 33。</li> <li>• <i>number</i> : スピードダイヤルの電話番号。</li> <li>• <i>string</i> : 短縮ダイヤル ボタンを識別する英数字ラベル。文字列は、最大 30 文字を指定できます。</li> <li>• <b>device</b> : (任意) 電話ベース モニタリングをイネーブルにします。このキーワードは Cisco Unified CME 7.1 以降のバージョンでサポートされています。</li> </ul>
<p><b>ステップ6</b> <code>presence call-list</code></p> <p><b>例:</b>  <code>Router(config-ephone)# presence call-list</code></p>	<p>この電話機のディレクトリおよびコールリストに表示されるディレクトリ番号の BLF モニタリングをイネーブルにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• モニタされるディレクトリ番号は、<b>allow watch</b> コマンドでイネーブルにしておく必要があります。</li> <li>• この Cisco Unified CME システムのすべての電話機のコールリストについて BLF モニタリングをイネーブルにするには、このコマンドをプレゼンス モードで使用します。「<a href="#">内部回線に対するプレゼンスの有効化</a>」(P.1299) を参照してください。</li> </ul>
<p><b>ステップ7</b> <code>end</code></p> <p><b>例:</b>  <code>Router(config-ephone)# end</code></p>	<p>特権 EXEC モードに戻ります。</p>

例

次の例では、内線 2001 および 2003 のディレクトリ番号のウォッチが許可され、これらの番号の BLF ステータスが電話機 1 に表示されることを示します。

```
ephone-dn 201
  number 2001
  allow watch
```

```
!  
!  
ephone-dn 203  
  number 2003  
  allow watch  
!  
!  
ephone 1  
  mac-address 0012.7F54.EDC6  
  blf-speed-dial 2 201 label "sales" device  
  blf-speed-dial 3 203 label "service" device  
  button 1:100 2:101 3b102
```

## 次の作業

Cisco Unified CME の SCCP 電話機のパラメータの変更後は、**create cnf-files** コマンドを使用して新しい設定プロファイルを生成し、次に **restart** コマンドで電話機を再起動します。「[SCCP : SCCP 電話機のコンフィギュレーションファイルの生成](#)」(P.361) および「[SCCP : restart コマンドの使用](#)」(P.374) を参照してください。

## SIP : スピードダイヤルおよびコール リストの BLF モニタリングのイネーブル化

BLF スピードダイヤルおよび BLF コール リストのプレゼンス機能により、ウォッチャは内部および外部ディレクトリ番号（プレゼンティティ）に関連付けられた回線のステータスをモニタできます。SIP 電話機で BLF 通知機能をイネーブルにするには、次の手順を実行します。

### 前提条件

- Cisco Unified CME ルータでプレゼンスがイネーブルになっていること。「[内部回線に対するプレゼンスの有効化](#)」(P.1299) を参照してください。
- BLF ステータス通知を提供するには、ディレクトリ番号が **allow watch** コマンドでプレゼンティティとしてイネーブルになっていること。「[ディレクトリ番号のウォッチ](#)」(P.1300) を参照してください。
- SIP 電話機が、音声レジスタ プール コンフィギュレーション モードのディレクトリ番号で設定されていること (**number** コマンドで **dn** キーワードを使用)。直接回線番号はサポートされません。
- デバイスベース モニタリングには、Cisco Unified CME 7.1 以降のバージョンが必要。モニタする電話機に関連付けられたすべてのディレクトリ番号が **allow watch** コマンドで設定されている必要があります。そうでないと、いずれかのディレクトリ番号がこの設定を省略した場合に、正しくないステータスがウォッチャに報告される可能性があります。

### 制約事項

- デバイスベース BLF スピードダイヤル モニタリングはリモート ウォッチャまたはプレゼンティティにはサポートされません。

#### BLF コール リスト

- Cisco Unified IP Phone 7905/7906/7911/7912/7931/7940/7960/7985、Cisco Unified IP Phone Expansion Module、Cisco Unified IP Conference Station ではサポートされません。

### BLF スピード ダイヤル

- Cisco Unified IP Phone 7905/7906/7911/7912/7985、Cisco Unified IP Conference Station ではサポートされません。

#### 手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **voice register pool *pool-tag***
4. **number *tag dn dn-tag***
5. **blf-speed-dial *tag number label string [device]***
6. **presence call-list**
7. **end**

#### 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	<b>enable</b>  例： Router> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。  • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ2	<b>configure terminal</b>  例： Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ3	<b>voice register pool <i>pool-tag</i></b>  例： Router(config)# voice register pool 1	音声レジスタ プール コンフィギュレーション モードを開始して、SIP 電話機の電話機固有パラメータを設定します。  • <i>pool-tag</i> : 設定する SIP 電話機の一意的シーケンス番号。範囲はバージョンとプラットフォームに依存します。範囲を表示するには、? と入力します。max-pool コマンドを使用すると、この引数の上限を変更できます。
ステップ4	<b>number <i>tag dn dn-tag</i></b>  例： Router(config-register-pool)# number 1 dn 2	ディレクトリ番号を SIP 電話機に割り当てます。  • <i>tag</i> : 複数の <b>number</b> コマンドがある場合の識別子。範囲：1 ~ 10。  • <i>dn-tag</i> : <b>voice register dn</b> コマンドを使用して定義されたディレクトリ番号タグ。

コマンドまたはアクション	目的
<p><b>ステップ5</b> <code>blf-speed-dial tag number label string [device]</code></p> <p><b>例:</b>  <pre>Router(config-register-pool)# blf-speed-dial 3 3001 label sales device</pre></p>	<p>電話機のスピードダイヤルに関連付けられたディレクトリ番号の BLF モニタリングをイネーブルにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>tag</b> : スピードダイヤル インデックスを識別する番号。範囲 : 1 ~ 7。</li> <li>• <b>number</b> : スピードダイヤルの電話番号。</li> <li>• <b>string</b> : 短縮ダイヤル ボタンを識別する英数字ラベル。文字列は、最大 30 文字を指定できます。</li> <li>• <b>device</b> : (任意) 電話ベース モニタリングをイネーブルにします。このキーワードは Cisco Unified CME 7.1 以降のバージョンでサポートされています。</li> </ul>
<p><b>ステップ6</b> <code>presence call-list</code></p> <p><b>例:</b>  <pre>Router(config-register-pool)# presence call-list</pre></p>	<p>この電話機のディレクトリおよびコール リストに表示されるディレクトリ番号の BLF モニタリングをイネーブルにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• モニタされるディレクトリ番号は、<b>allow watch</b> コマンドでイネーブルにしておく必要があります。</li> <li>• この Cisco Unified CME システムのすべての電話機のコール リストについて BLF モニタリングをイネーブルにするには、このコマンドをプレゼンス モードで使用します。「<a href="#">内部回線に対するプレゼンスの有効化 (P.1299)</a>」を参照してください。</li> </ul>
<p><b>ステップ7</b> <code>end</code></p> <p><b>例:</b>  <pre>Router(config-register-pool)# end</pre></p>	<p>特権 EXEC モードに戻ります。</p>

## 次の作業

Cisco Unified CME の SIP 電話機のパラメータの変更後は、**create profile** コマンドを使用して新しい設定プロファイルを生成し、次に **restart** コマンドで電話機を再起動します。「[SIP : SIP 電話機の設定プロファイルの生成 \(P.363\)](#)」および「[SIP : restart コマンドの使用 \(P.378\)](#)」を参照してください。

## BLF スピードダイヤルメニューのイネーブル化

### 前提条件

- Cisco Unified CME 8.5 以降のバージョン。

### 制約事項

- EM ユーザは、電話機ユーザ インターフェイス (UI) からログアウトプロファイルを変更できません。
- エクステンション モビリティ (EM) ユーザが BLF スピードダイヤル番号を更新するには、EM にログインする必要があります。



## 手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **ephone *phone-tag***
4. **blf-speed-dial [index *index number*] [phone-number *number*] [label *label text*]**
5. **end**

## 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	<b>enable</b>  例： Router> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。  • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ2	<b>configure terminal</b>  例： Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ3	<b>ephone <i>phone-tag</i></b>  例： Router(config)# ephone 10	ephone コンフィギュレーション モードを開始します。  • <i>phone-tag</i> : BLF スピード ダイアル番号を設定する電話機の一意の番号。
ステップ4	<b>blf-speed-dial [index <i>index number</i>] [phone-number <i>number</i>] [label <i>label text</i>]</b>  例： Router(config-ephone)#blf-speed-dial 1 2001 label "customer support"	この電話機に BLF スピード ダイアル番号のエントリを作成します。  • <b>BLF-speed-dial index</b> : 設定中にこのエントリを識別する固有識別子。範囲は 1 ~ 75 です。  • <b>phone number</b> : ダイアルする電話番号または内線。
ステップ5	<b>end</b>  例： Router(config-ephone)# end	特権 EXEC モードに戻ります。

## 外部回線をウォッチするプレゼンスの設定

リモート Cisco Unified CME ルータ上の外部ディレクトリ番号を内部ウォッチャがモニタできるようにするには、次の手順を実行します。

## 前提条件

プレゼンス サービスが内部回線用にイネーブルになっていること。「[内部回線に対するプレゼンスの有効化](#)」(P.1299)を参照してください。

手順の概要

1. enable
2. configure terminal
3. presence
4. server ip-address
5. allow subscribe
6. watcher all
7. sccp blf-speed-dial retry-interval seconds limit number
8. exit
9. voice register global
10. authenticate presence
11. authenticate credential tag location
12. end

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	<b>enable</b>  例： Router> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。  • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ2	<b>configure terminal</b>  例： Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ3	<b>presence</b>  例： Router(config)# presence	プレゼンス サービスをイネーブルにし、プレゼンス コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ4	<b>server ip-address</b>  例： Router(config-presence)# server 10.10.10.1	プレゼンス要求を内部ウォッチャから外部プレゼンティティへ送信するための、プレゼンス サーバの IP アドレスを指定します。
ステップ5	<b>allow subscribe</b>  例： Router(config-presence)# allow subscribe	内部ウォッチャが外部ディレクトリ番号をモニタできるようにします。
ステップ6	<b>watcher all</b>  例： Router(config-presence)# watcher all	外部ウォッチャが内部ディレクトリ番号をモニタできるようにします。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ7	<p><code>sccp blf-speed-dial retry-interval seconds limit number</code></p> <p>例： Router(config-presence)# sccp blf-speed-dial retry-interval 90 limit number 15</p>	<p>(任意) SCCP を実行中の電話機のスピードダイヤル番号の BLF モニタリングに、再試行タイムアウトを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>seconds</i> : 再試行タイムアウト (秒単位。範囲 : 60 ~ 3600。デフォルト : 60)。</li> <li>• <i>number</i> : 最大再試行回数。範囲 : 10 ~ 100。デフォルト : 10。</li> </ul>
ステップ8	<p><code>exit</code></p> <p>例： Router(config-presence)# exit</p>	<p>プレゼンス コンフィギュレーション モードを終了します。</p>
ステップ9	<p><code>voice register global</code></p> <p>例： Router(config)# voice register global</p>	<p>音声レジスタ グローバル コンフィギュレーション モードを開始して、Cisco Unified CME 環境でサポートされるすべての SIP 電話機に対してグローバル パラメータを設定します。</p>
ステップ10	<p><code>authenticate presence</code></p> <p>例： Router(config-register-global)# authenticate presence</p>	<p>(任意) リモート プレゼンス サーバからの着信プレゼンス要求の認証を可能にします。</p>
ステップ11	<p><code>authenticate credential tag location</code></p> <p>例： Router(config-register-global)# authenticate credential 1 flash:cred1.csv</p>	<p>(任意) プレゼンス サブスクリプション要求の認証に使用するクレデンシャル ファイルを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>tag</i> : プレゼンス認証に使用するクレデンシャル ファイルを識別する番号。範囲 : 1 ~ 5。</li> <li>• <i>location</i> : URL 形式によるクレデンシャル ファイルの名前と場所。有効な保存場所は、TFTP、HTTP、およびフラッシュ メモリです。</li> </ul>
ステップ12	<p><code>end</code></p> <p>例： Router(config-register-global)# end</p>	<p>特権 EXEC モードに戻ります。</p>

## プレゼンス設定の確認

### ステップ 1 show running-config

このコマンドを使用して、設定を確認します。

```
Router# show running-config
!
voice register global
mode cme
source-address 10.1.1.2 port 5060
load 7971 SIP70.8-0-1-11S
load 7970 SIP70.8-0-1-11S
load 7961GE SIP41.8-0-1-0DEV
load 7961 SIP41.8-0-1-0DEV
authenticate presence
authenticate credential 1 tftp://172.18.207.15/labtest/cred1.csv
create profile sync 0004550081249644
.
.
.
presence
server 10.1.1.4
sccp blf-speed-dial retry-interval 70 limit 20
presence call-list
max-subscription 128
watcher all
allow subscribe
!
sip-ua
presence enable
```

**ステップ 2 show presence global**

このコマンドを使用して、プレゼンスの設定を確認します。

```
Router# show presence global

Presence Global Configuration Information:
=====
Presence feature enable           : TRUE
Presence allow external watchers : FALSE
Presence max subscription allowed : 100
Presence number of subscriptions : 0
Presence allow external subscribe : FALSE
Presence call list enable        : TRUE
Presence server IP address       : 0.0.0.0
Presence sccp blfsd retry interval : 60
Presence sccp blfsd retry limit  : 10
Presence router mode             : CME mode
```

**ステップ 3 show presence subscription [details | presentity telephone-number | subid subscription-id summary]**

このコマンドを使用して、アクティブプレゼンスサブスクリプションに関する情報を表示します。

```
Router# show presence subscription summary

Presence Active Subscription Records Summary: 15 subscription
Watcher                Presentity                SubID Expires SibID Status
=====
6002@10.4.171.60      6005@10.4.171.34         1    3600  0    idle
6005@10.4.171.81      6002@10.4.171.34         6    3600  0    idle
6005@10.4.171.81      6003@10.4.171.34         8    3600  0    idle
6005@10.4.171.81      6002@10.4.171.34         9    3600  0    idle
6005@10.4.171.81      6003@10.4.171.34        10    3600  0    idle
6005@10.4.171.81      6001@10.4.171.34        12    3600  0    idle
6001@10.4.171.61      6003@10.4.171.34        15    3600  0    idle
6001@10.4.171.61      6002@10.4.171.34        17    3600  0    idle
6003@10.4.171.59      6003@10.4.171.34        19    3600  0    idle
6003@10.4.171.59      6002@10.4.171.34        21    3600  0    idle
6003@10.4.171.59      5001@10.4.171.34        23    3600  24    idle
6002@10.4.171.60      6003@10.4.171.34       121    3600  0    idle
6002@10.4.171.60      5002@10.4.171.34       128    3600  129    idle
6005@10.4.171.81      1001@10.4.171.34       130    3600  131    busy
6005@10.4.171.81      7005@10.4.171.34       132    3600  133    idle
```

## プレゼンスのトラブルシューティング

**ステップ 1 debug presence {all | asnl | errors | event | info | timer | trace | xml}**

このコマンドでは、プレゼンスサービスに関するデバッグ情報が表示されます。

```
Router# debug presence errors

*Sep  4 07:16:02.715: //PRESENCE:[0]:/presence_sip_line_update: SIP nothing to update
*Sep  4 07:16:02.723: //PRESENCE:[17]:/presence_handle_notify_done: sip stack response
code [29]
*Sep  4 07:16:02.723: //PRESENCE:[24]:/presence_handle_notify_done: sip stack response
code [29]
*Sep  4 07:16:02.791: //PRESENCE:[240]:/presence_handle_notify_done: sip stack response
code [17]
```

```
*Sep 4 07:16:02.791: //PRESENCE:[766]:/presence_handle_notify_done: sip stack response code [17]
*Sep 4 07:16:04.935: //PRESENCE:[0]:/presence_sip_line_update: SIP nothing to update
*Sep 4 07:16:04.943: //PRESENCE:[17]:/presence_handle_notify_done: sip stack response code [29]
*Sep 4 07:16:04.943: //PRESENCE:[24]:/presence_handle_notify_done: sip stack response code [29]
*Sep 4 07:16:04.995: //PRESENCE:[240]:/presence_handle_notify_done: sip stack response code [17]
*Sep 4 07:16:04.999: //PRESENCE:[766]:/presence_handle_notify_done: sip stack response code [17]
```

## ステップ 2 debug ephone blf [mac-address mac-address]

このコマンドでは、BLF プレゼンス機能のデバッグ情報が表示されます。

```
Router# debug ephone blf
```

```
*Sep 4 07:18:26.307: skinny_asnl_callback: subID 16 type 4
*Sep 4 07:18:26.307: ASNL_RESP_NOTIFY_INDICATION
*Sep 4 07:18:26.307: ephone-1[1]:ASNL notify indication message, feature index 4, subID [16]
*Sep 4 07:18:26.307: ephone-1[1]:line status 6, subID [16]
*Sep 4 07:18:26.307: ephone-1[1]:StationFeatureStatV2Message sent, status 2
*Sep 4 07:18:26.307: skinny_asnl_callback: subID 23 type 4
*Sep 4 07:18:26.307: ASNL_RESP_NOTIFY_INDICATION
*Sep 4 07:18:26.307: ephone-2[2]:ASNL notify indication message, feature index 2, subID [23]
*Sep 4 07:18:26.311: ephone-2[2]:line status 6, subID [23]
*Sep 4 07:18:26.311: ephone-2[2]:StationFeatureStatV2Message sent, status 2
*Sep 4 07:18:28.951: skinny_asnl_callback: subID 16 type 4
*Sep 4 07:18:28.951: ASNL_RESP_NOTIFY_INDICATION
*Sep 4 07:18:28.951: ephone-1[1]:ASNL notify indication message, feature index 4, subID [16]
*Sep 4 07:18:28.951: ephone-1[1]:line status 1, subID [16]
*Sep 4 07:18:28.951: ephone-1[1]:StationFeatureStatV2Message sent, status 1
*Sep 4 07:18:28.951: skinny_asnl_callback: subID 23 type 4
*Sep 4 07:18:28.951: ASNL_RESP_NOTIFY_INDICATION
*Sep 4 07:18:28.951: ephone-2[2]:ASNL notify indication message, feature index 2, subID [23]
*Sep 4 07:18:28.951: ephone-2[2]:line status 1, subID [23]
*Sep 4 07:18:28.951: ephone-2[2]:StationFeatureStatV2Message sent, status 1
```

## プレゼンスの設定例

ここでは、次の例について説明します。

- 「Cisco Unified CME でのプレゼンス : 例」(P.1314)

### Cisco Unified CME でのプレゼンス : 例

```
Router# show running-config

Building configuration...

Current configuration : 5465 bytes
!
version 12.4
service timestamps debug datetime msec
service timestamps log datetime msec
no service password-encryption
!
hostname CME-3825
!
boot-start-marker
boot-end-marker
!
logging buffered 2000000 debugging
enable password lab
!
no aaa new-model
!
resource policy
!
no network-clock-participate slot 1
no network-clock-participate slot 2
ip cef
!
!
no ip domain lookup
!
voice-card 1
no dspfarm
!
voice-card 2
no dspfarm
!
!
voice service voip
allow-connections sip to sip
h323
sip
registrar server expires max 240 min 60
!
voice register global
mode cme
source-address 11.1.1.2 port 5060
load 7971 SIP70.8-0-1-11S
load 7970 SIP70.8-0-1-11S
load 7961GE SIP41.8-0-1-0DEV
load 7961 SIP41.8-0-1-0DEV
authenticate presence
authenticate credential 1 tftp://172.18.207.15/labtest/cred1.csv
create profile sync 0004550081249644
```



```
!
voice register dn 1
  number 2101
  allow watch
!
voice register dn 2
  number 2102
  allow watch
!
voice register pool 1
  id mac 0015.6247.EF90
  type 7971
  number 1 dn 1
  blf-speed-dial 1 1001 label "1001"
!
voice register pool 2
  id mac 0012.0007.8D82
  type 7912
  number 1 dn 2
!
interface GigabitEthernet0/0
  description $ETH-LAN$$ETH-SW-LAUNCH$$INTF-INFO-GE 0/0$
  ip address 11.1.1.2 255.255.255.0
  duplex full
  speed 100
  media-type rj45
  no negotiation auto
!
interface GigabitEthernet0/1
  no ip address
  shutdown
  duplex auto
  speed auto
  media-type rj45
  negotiation auto
!
ip route 0.0.0.0 0.0.0.0 11.1.1.1
!
ip http server
!
!
!
tftp-server flash:Jar41sccp.8-0-0-103dev.sbn
tftp-server flash:cvm41sccp.8-0-0-102dev.sbn
tftp-server flash:SCCP41.8-0-1-0DEV.loads
tftp-server flash:P00303010102.bin
tftp-server flash:P00308000100.bin
tftp-server flash:P00308000100.loads
tftp-server flash:P00308000100.sb2
tftp-server flash:P00308000100.sbn
tftp-server flash:SIP41.8-0-1-0DEV.loads
tftp-server flash:apps41.1-1-0-82dev.sbn
tftp-server flash:cnu41.3-0-1-82dev.sbn
tftp-server flash:cvm41sip.8-0-0-103dev.sbn
tftp-server flash:dsp41.1-1-0-82dev.sbn
tftp-server flash:jar41sip.8-0-0-103dev.sbn
tftp-server flash:P003-08-1-00.bin
tftp-server flash:P003-08-1-00.sbn
tftp-server flash:P0S3-08-1-00.loads
tftp-server flash:P0S3-08-1-00.sb2
tftp-server flash:CP7912080000SIP060111A.sbin
tftp-server flash:CP7912080001SCCP051117A.sbin
tftp-server flash:SCCP70.8-0-1-11S.loads
tftp-server flash:cvm70sccp.8-0-1-13.sbn
```

```

tftp-server flash:jar70sccp.8-0-1-13.sbn
tftp-server flash:SIP70.8-0-1-11S.loads
tftp-server flash:apps70.1-1-1-11.sbn
tftp-server flash:cnu70.3-1-1-11.sbn
tftp-server flash:cvm70sip.8-0-1-13.sbn
tftp-server flash:dsp70.1-1-1-11.sbn
tftp-server flash:jar70sip.8-0-1-13.sbn
!
control-plane
!
dial-peer voice 2001 voip
  preference 2
  destination-pattern 1...
  session protocol sipv2
  session target ipv4:11.1.1.4
  dtmf-relay sip-notify
!
presence
  server 11.1.1.4
  sccp blf-speed-dial retry-interval 70 limit 20
  presence call-list
  max-subscription 128
  watcher all
  allow subscribe
!
sip-ua
  authentication username jack password 021201481F
  presence enable
!
!
telephony-service
  load 7960-7940 P00308000100
  load 7941GE SCCP41.8-0-1-0DEV
  load 7941 SCCP41.8-0-1-0DEV
  load 7961GE SCCP41.8-0-1-0DEV
  load 7961 SCCP41.8-0-1-0DEV
  load 7971 SCCP70.8-0-1-11S
  load 7970 SCCP70.8-0-1-11S
  load 7912 CP7912080000SIP060111A.sbin
  max-ephones 100
  max-dn 300
  ip source-address 11.1.1.2 port 2000
  url directories http://11.1.1.2/localdirectory
  max-conferences 6 gain -6
  call-forward pattern .T
  transfer-system full-consult
  transfer-pattern .T
  create cnf-files version-stamp Jan 01 2002 00:00:00
!
!
ephone-dn 1 dual-line
  number 2001
  allow watch
!
!
ephone-dn 2 dual-line
  number 2009
  allow watch
  application default
!
!
ephone-dn 3
  number 2005
  allow watch

```

```

!
!
ephone-dn 4 dual-line
  number 2002
!
!
ephone 1
  mac-address 0012.7F57.62A5
  fastdial 1 1002
  blf-speed-dial 1 2101 label "2101"
  blf-speed-dial 2 1003 label "1003"
  blf-speed-dial 3 2002 label "2002"
  type 7960
  button 1:1 2:2
!
!
!
ephone 3
  mac-address 0015.6247.EF91
  blf-speed-dial 2 1003 label "1003"
  type 7971
  button 1:3 2:4
!
!
!
line con 0
  exec-timeout 0 0
  password lab
  stopbits 1
line aux 0
  stopbits 1
line vty 0 4
  password lab
  login
!
scheduler allocate 20000 1000
!
end

```

## その他の参考資料

次の各項では、Cisco Unified CME 機能に関連するその他の資料について説明します。

### 関連資料

関連項目	参照先
Cisco Unified CME の設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>『<a href="#">Cisco Unified CME Command Reference</a>』</li> <li>『<a href="#">Cisco Unified CME Documentation Roadmap</a>』</li> </ul>
Cisco IOS コマンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>『<a href="#">Cisco IOS Voice Command Reference</a>』</li> <li>『<a href="#">Cisco IOS Software Releases 12.4T Command References</a>』</li> </ul>
Cisco IOS の設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>『<a href="#">Cisco IOS Voice Configuration Library</a>』</li> <li>『<a href="#">Cisco IOS Software Releases 12.4T Configuration Guides</a>』</li> </ul>
Cisco Unified CME 用の電話機のマニュアル	<ul style="list-style-type: none"> <li>『<a href="#">User Documentation for Cisco Unified IP Phones</a>』</li> </ul>

## シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
<p>右の URL にアクセスして、シスコのテクニカル サポートを最大限に活用してください。</p> <p>以下を含むさまざまな作業にこの Web サイトが役立ちます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・テクニカル サポートを受ける</li><li>・ソフトウェアをダウンロードする</li><li>・セキュリティの脆弱性を報告する、またはシスコ製品のセキュリティ問題に対する支援を受ける</li><li>・ツールおよびリソースへアクセスする<ul style="list-style-type: none"><li>- Product Alert の受信登録</li><li>- Field Notice の受信登録</li><li>- Bug Toolkit を使用した既知の問題の検索</li></ul></li><li>・Networking Professionals (NetPro) コミュニティで、技術関連のディスカッションに参加する</li><li>・トレーニング リソースへアクセスする</li><li>・TAC Case Collection ツールを使用して、ハードウェアや設定、パフォーマンスに関する一般的な問題をインタラクティブに特定および解決する</li></ul> <p>この Web サイト上のツールにアクセスする際は、Cisco.com のログイン ID およびパスワードが必要です。</p>	<p><a href="http://www.cisco.com/en/US/support/index.html">http://www.cisco.com/en/US/support/index.html</a></p>

# プレゼンス サービスの機能情報

表 121 に、このモジュールで説明した機能、およびバージョンごとの拡張機能を示します。

特定の Cisco Unified CME バージョンをサポートするための適切な Cisco IOS リリースを判断するには、[http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/cucme/requirements/guide/33matrix.htm](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cucme/requirements/guide/33matrix.htm) にある『Cisco Unified CME and Cisco IOS Software Version Compatibility Matrix』を参照してください。

プラットフォームのサポートおよびソフトウェア イメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator では、特定のソフトウェア リリース、フィチャ セット、またはプラットフォームをサポートしている Cisco IOS ソフトウェア イメージを確認できます。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、<http://www.cisco.com/go/cfn> に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。



(注) 表 121 には、特定の機能に対するサポートを導入した Cisco Unified CME のバージョンが示されています。特に明記されていない限り、Cisco Unified CME ソフトウェアの後続のバージョンでもこの機能をサポートします。

表 121 プレゼンス サービスの機能情報

機能名	Cisco Unified CME のバージョン	変更箇所
BLF スピードダイヤルのための電話機ユーザ インターフェイス	8.5	電話機ユーザ インターフェイスによる BLF スピードダイヤルのサポートが追加されました。
BLF モニタリング	7.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>デバイスベース BLF モニタリングのサポートが追加されました。</li> <li>DnD、コール パーク、ページング、および会議での ephone-DN の BLF モニタリングのサポートが追加されました。</li> </ul>
プレゼンス サービス	4.1	BLF によるプレゼンスが導入されました。

